

重陽子加速器中性子源を用いた天然亜鉛を原料とする医療用放射性銅の製造法

青木, 勝海

<https://hdl.handle.net/2324/4784668>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (工学), 課程博士

バージョン :

権利関係 : Public access to the fulltext file is restricted for unavoidable reason (3)

氏名	青木 勝海			
論文名	重陽子加速器中性子源を用いた天然亜鉛を原料とする医療用放射性銅の製造法			
論文調査委員	主査	九州大学	准教授	金 政浩
	副査	九州大学	教授	渡辺 幸信
	副査	九州大学	教授	渡辺 賢一

論文審査の結果の要旨

本論文は、重陽子加速器中性子源を用いた医療用放射性銅製造法の最適化を目的として、逐次近似に基づいた中性子スペクトルアンフォールディング法において実験データおよび核データの不確かさが伝播できる手法を開発し、系統的に測定したデータに適用して得られた不確かさ付き中性子スペクトルによる製造量評価を可能にしたことで、核データライブラリを用いて求めた製造量との有意差検定をできるようにしており、中性子工学の発展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値すると認める。